



学校だより

令和6年 3月21日
東京都立小平特別支援学校
校長 阿部 智子

肢体不自由教育部門 〒187-0035 小平市小川西町 2-33-1 TEL 042-342-1671
病弱教育部門・武蔵分教室 〒187-0031 小平市小川東町 4-1-1 国立精神・神経医療研究センター病院内
TEL 042-344-4537

「TEP-CUP(東京都高等学校英語プレゼンテーションコンテスト)第2位！」

号外

都内高校生が自分の考えを英語で発信する実践的な発表の機会を設けることにより総合的なプレゼンテーション能力の向上を図ることを目的として、東京都高等学校英語プレゼンテーションコンテスト (Tokyo High School English Presentation Cup)、名称「TEP-CUP」の本選が3月20日(水)大手町三井ホールにて開催されました。



このコンテストは予選と本選とで構成されていて、予選はユニット単位で作成した英語によるプレゼンテーション動画を事務局が審査、本選出場ユニットが選抜されました。103ユニット中の8ユニットが本選に選ばれ、その中の1つが、**ユニット名「Kodaira Special Needs School」**です。



本選は、本選出場ユニットが会場で英語によるプレゼンテーションを行い、続けて英語による質疑応答を行います。

本選審査員は、審査委員長に吉田研作上智大学名誉教授をはじめとした、^{そうそう}錚々たるメンバーでした。本選の審査基準はアイデア35点、論理性20点、表現上の工夫20点、資料15点、質疑応答10点の合計100点となります。制限時間は7分以上10分以内で、質疑応答の時間は含まれません。

こうした実施要項にのっとりた TEP-CUP ですが、結果として、**8ユニット中第2位教育長賞に輝き、浜佳葉子教育長から表彰状、トロフィ、メダルをいただきました。**小平特別支援学校の3人のユニット

メンバー (**Kodaira Special Needs School**) が発表した内容の一部を紹介します。

As the birthrate declines and the population ages more and more, an environment that is friendly to people with disabilities is an environment that is friendly to the elderly and all people who use baby strollers.

If we can improve on what we have mentioned so far, even we wheelchair users will find Tokyo more convenient. We also believe that letting people know what people with disabilities usually think and what they have trouble with will help reduce discrimination and prejudice.

【この先少子高齢化がますます深刻化していく中で、障害者にとってやさしい環境は高齢者やベビーカーを利用する人すべてにとってやさしい環境です。私たちの話したことが実現すれば、私たち車いすユーザーでも便利に感じることができ、また障害者が普段考えていることや、困っていることを知ってもらうことで差別や偏見の軽減につながると考えます。】

表彰式では小池百合子東京都知事との記念撮影も行われ、表彰式後には本選に出場した8ユニットが、別室で懇談しながら審査員から直接講評をいただける時間もありました。27日には副賞として在日米国大使館への訪問の機会をいただきました。

国立、都立、私立すべてに参加資格のあるコンテストでの第2位は大変誇らしいことです。本当におめでとう。



校長 阿部 智子